

サポセンニュースレター 2023年秋桜号

**特集** p2-3  
地域で考える  
こどもにやさしいまちと  
こども基本法

p4-5 [サポセンの事業報告]

- 第7期 まつど地域活躍塾 公開講演会
- NPO・市民活動よろず講座
  - ① 「親子で体験！楽しく学ぶ防災ワークショップ」
  - ② 全国の被災地で大活躍のツンさんが語る  
「世界が広がる、魅力的な人と出会えるボランティアのススメ」

p6 [ある日のサポセン]

「大人のためのボランティア体験」を活用してみませんか？

p7 [チャレンジャー]

Chouette (シュエッテ)

p7 サポセン新規届出団体

p8 [スタッフコラム]

デジタル一眼レフはじめました



サポセン  
メルマガ登録はこちら！

<https://bit.ly/3gf0dh6>



まつど市民活動  
サポートセンター

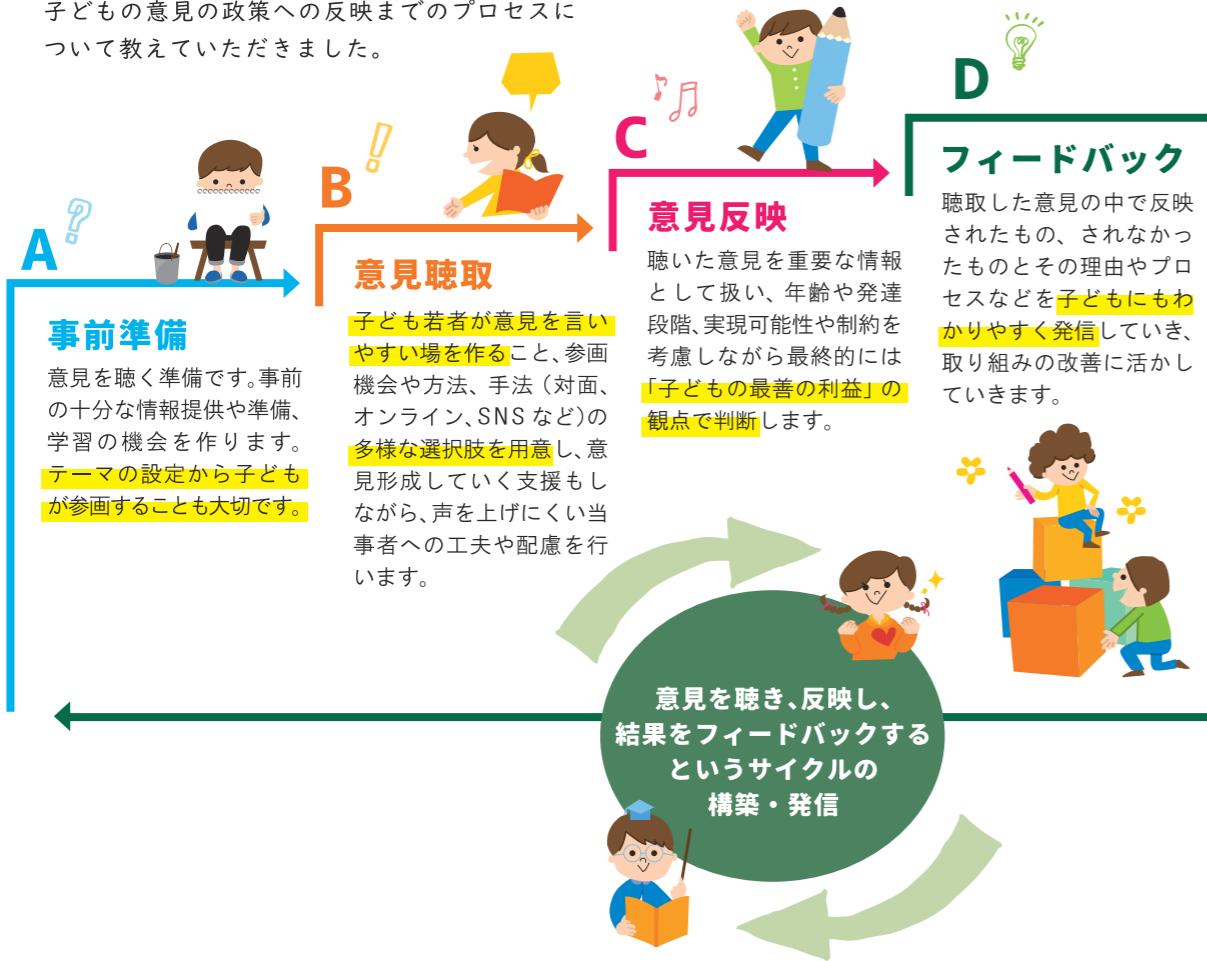
<http://www.matsudo-sc.com/>

point

2

## かなめは「こども・若者の意見反映の仕組みづくり」

子どもの意見の政策への反映までのプロセスについて教えていただきました。



point

3

## まとめ：「こどもにやさしいまち、まつど」へ地域でできること

私たちサポートセンターでも中高生を対象とした事業など行っていますが、今回のお話を参考に子どもたちの意見を取り入れていきたいと感じました。

『「こどもまんなか』の実現に向けて、大人はできるのか、みんなで考えていくことが重要です。個人の取り組みと、「つながる・集まる」という力、行政の力、それを活かして、一緒に『こどもにやさしいまち』の実現を目指して、『こどもにやさしいまち、まつど』を作成します。市民の皆さんにもやさしいまちになると思います。

最後に講師からは



「こどもたちを取り巻く状況は厳しいです。子どもの総数は減り続けているのに、虐待相談対応件数は増え続けています。しかし、保護者は生まれる前から子どもを不幸せにしようと思っています。結果として困難な状況が生まれてしまっている。そうならないように、社会全体で子ども・子育て世帯を支援していくことが重要になりますが、地域では、どのようなことができるでしょうか？」

お話しの中で特に印象的だったのが、意見表明について。こども施策に対する「子ども、子育て当事者等の意見を反映させていくことが大切」になります。どのように子どもの意見を引き出して受け止め、社会を整備・実現していくかということがこども基本法を実践していく中でも大切なことでした。

お話しの中で特に印象的だったのが、意見表明について。こども施策に対する「子ども、子育て当事者等の意見を反映させていくことが大切」になります。どのように子どもの意見を引き出して受け止め、社会を整備・実現していくかということがこども基本法を実践していく中でも大切なことでした。

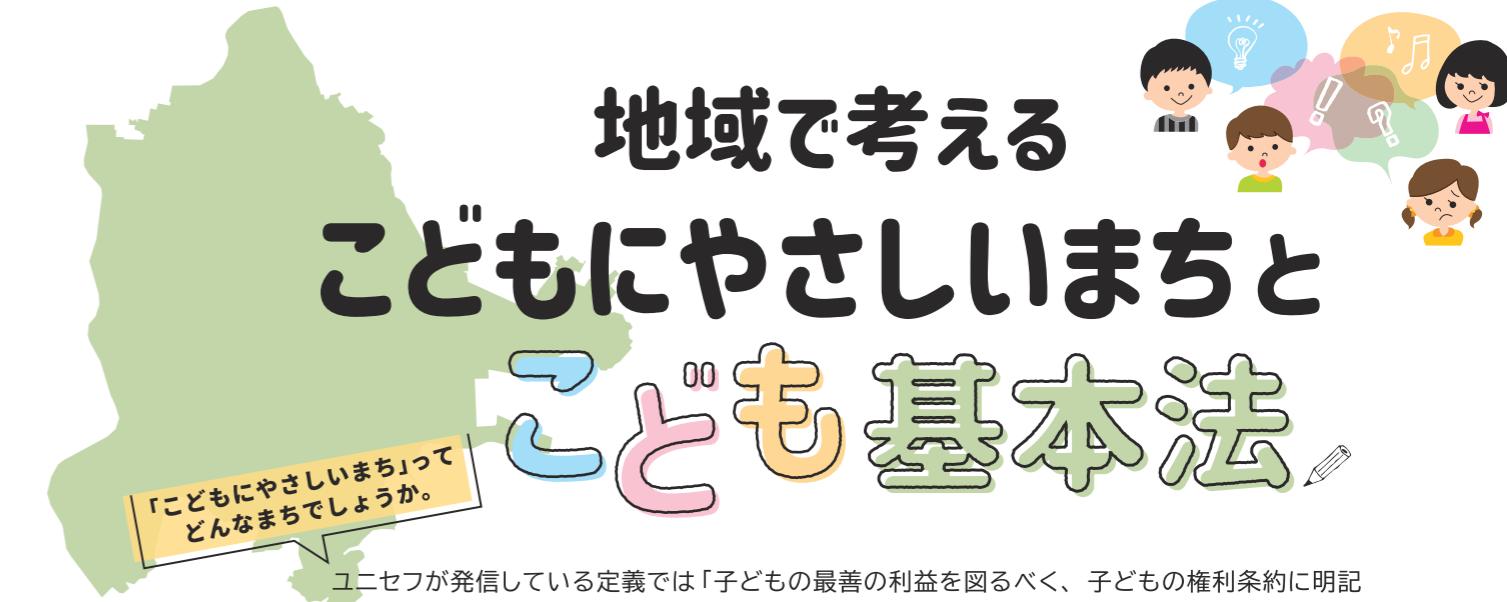
- 1 国のこども大綱を勘案し、「こども計画」を策定する
- 2 こども施策の策定・実施・評価に当たり、子どもや子育て当事者等の意見を聴取して反映させる
- 3 関係機関や団体等の有機的な連携の確保

基本理念として、全ての子どもについて、「個人として尊重されること」、「基本的人権が保障されること」などが明記されています。

こども基本法の対象は「全ての子どもや保護者との関わり、日々の取組の中にこども基本法の理念があります。現場での取組と学びを両輪で回していくましょう。」というメッセージから始まり、こども基本法のことについて話されました。



講師：  
胡内 敦司さん  
(こども家庭庁)



## 地域で考える

# こどもにやさしいまちと こども基本法

ユニセフが発信している定義では「子どもの最善の利益を図るべく、子どもの権利条約に明記された子どもの権利を満たすために積極的に取り組むまち（市町村など）」<sup>※1</sup>とされています。松戸市においても子どもや子育てに関わっている市民活動団体が連携し、「こどもにやさしいまち、まつど」キャンペーンという活動が始まっています。

今回の特集では、こちらのキャンペーンが主催した勉強会の様子を取材させていただき、こども基本法や地域で求められることについてレポートしていきます。この勉強会は、こどもにやさしいまちの実現のために、キャンペーンを推進する実行委員会が企画したもので、こども家庭庁の胡内敦司さんが講師となり、市民活動に関わっている方、幼稚園や保育園の関係者など多くの方が集まっていました。

※1「公益財団法人 日本ユニセフ協会」ホームページより引用 <https://www.unicef.or.jp/cfc/about/>

### 地域で考える「こどもにやさしいまち」

開催日：2023年8月26日(土)14時～16時  
場所：まつど市民活動サポートセンター大会議室  
講師：胡内 敦司さん(こども家庭庁)  
主催：「こどもにやさしいまち、まつど」キャンペーン実行委員会  
共催：認定NPO法人かものはしプロジェクト



頭でっかちにならないことが大切。目の前の子どもや保護者との関わり、日々の取組の中にこども基本法の理念があります。現場での取組と学びを両輪で回していくましょう。」というメッセージから始まり、こども基本法のことについて話されました。

# 第7期まつど地域活躍塾 公開講演会



## 第1部 基調講演

### 人生をゆたかにする、 私とまちのつながり方

～人生100年時代の生き方を考える～

講師 牧野 篤さん  
東京大学大学院  
教育学研究科 教授/  
中央教育審議会  
生涯学習分科会委員・  
副分科会長



## 第2部 トークセッション

### 地域とつながる人生のススメ

ゲスト 【岩瀬自治会長】神田正昭さん  
【岩瀬自治会員】  
池田学さん(まつど地域活躍塾OB)  
富田文子さん(子ども部)



日本は現在、リタイアする年齢を超えてもまだ様々な場所で活躍できる人々が人口の半分近くになっています。これらの人々が活躍できるような仕組みを作り、新しい価値や社会を作り上げることが必要です。地域の中でたくさんの対話をを行い、ワクワクすることにどんどん挑戦してみて、周りを巻き込み、自分も巻き込まれていく。そんな人ととの関わりを紡ぐ社会では、恩返しを期待せず、恩を第三者に渡していく「恩送り」が大切、と牧野先生は説明されました。子どもたちが「あんな大人になりたい」とか「人生100年では短い」と思うような社会を実現してほしい、と結びました。

聖徳大学に隣接する岩瀬自治会は災害時に備えて、様々なイベントやサークル活動などの間口をつくり、地域の住民が参加しやすい自治会活動をしています。子ども部では、大学や市民活動団体の力を借りたり、自治会館をうまく活用しながら、子どもたち自身が活動に関われるようなことをやってきました。そしてこれらの様々な活動を支える地域のボランティア代表として、池田さん(まつど地域活躍塾OB)より、様々な活動に参加する楽しさについてもお話をいただきました。

# NPO・市民活動よろず講座

2023年8月19日(土) 13時30分～15時



## 1 親子で体験！楽しく学ぶ 防災ワークショップ

サポセンでは毎月1回、よろず講座シリーズということで様々なテーマのミニ講座を開催しています。

今回は関東大震災から100年ということでメディアでも多く取り上げられている防災をテーマとしました。

当日は聖徳大学の神谷明宏先生(教育

学部児童学科准教授、「遊びで防災体験BOOK」著者)にご協力いただき、親子で楽しみながら学べる内容になりました。

防災を身近に体験できるゲームやクイズなどはじめまり、グループと一緒に

なった人たちと「仮想まち探險」というワークショップを行いました。本来は実際に街を歩いて行うのですが、今回はシミュレーションということで、館内に隠された防災に関するピクトグラムや災害時に役立つもの、「まちの危険な場所

サポセンでは、防災コーナーを設けて、市の資料を設置していますので、この機会に是非ご自宅の防災対策について

チェックしてみてはいかがでしょうか？

サポセンのお隣にある、社会福祉協議会からは、災害時に立ち上げる「災害ボランティアセンター」について紹介しているほか、土嚢袋や安全靴、土砂を運ぶ一輪車など、災害ボランティア備品の展示も実施しました。

サポセンでは、防災コーナーを設けて、市の資料を設置していますので、この機会に是非ご自宅の防災対策について

チェックしてみてはいかがでしょうか？

ツンさん人生初の著書  
印税は全額寄付!とのことです



被災地だけでなく国際支援で現地に足を運ぶなど、世界を股にかけ活動するツンさん、「伝える支援」として、実体験を話す場を探しています！学校や学童、コミュニティなどで、ぜひ呼んでみませんか？

ツンさんは、ワールドカップ、オリンピック全て、ちょんまげに甲冑姿で応援するサッカー日本代表名物サポーターなんです

やりたいことを押し付けるのではなく、相手のニーズを聞く  
現場の作業ができなくても、買う・伝える支援がある  
「断続は力なり」。  
気が向いた時にやればいい。  
無関心・忘却が一番つらい  
みんなでやれば早く終わる、達成感もある、何より楽しい

## 2 全国の被災地で大活躍のツンさんが語る 世界が広がる、魅力的な人と出会える ボランティアのススメ

2023年8月26日(土) 10時～12時

ツンさん(角田寛和さん)は常盤平中学、小金高校出身で、現在松戸で靴屋を営む地元民。日本だけでなく世界各地でボランティア・講演活動をしていながら、

松戸では初めて！といふ貴重な機会となりました。

様々なエピソードを交えて、ボランティアの楽しさやコツを語ってもらいました。

東日本大震災直後の「靴がない」というつぶやきから、それまでボランティアの楽しさやコツを語つてももらいました。

東日本大震災直後、「靴がない」というつぶやきから、それまでボランティアの楽しさやコツを語つてももらいました。

東日本大震災直後、「靴がない」というつぶやきから、それまでボランティアの楽しさやコツを語つてももらいました。

東日本大震災直後、「靴がない」というつぶやきから、それまでボランティアの楽しさやコツを語つてももらいました。

公開講演会は  
YouTubeで  
ご覧いただけます



<https://youtu.be/9CQtO8hYD8Q?feature=shared>



岩瀬自治会のパネルを見る来場者



## まつど地域活躍塾とは

松戸をより暮らしやすい街にするために、自分の経験やスキルを活かして地域で活躍していくキッカケを見つける連続講座。地域で活躍している実践者を講師に迎えた講義やワークショップ、実地体験を通して学んでいきます。



ワークショップの様子



実地体験の様子



詳細はこちら！  
<https://mjuku.matsudo-sc.com/>



# 「大人のためのボランティア体験」を活用してみませんか？

ボランティアやスタッフを募集したい！

団体活動をしていくと「活動に興味をもつてくれた人に体験に来てもらったり、単発・定期的なボランティアとして関わってもらいたい」という思いが生まれてくることはありませんか？

今回はそんなときにサポセンをご活用いただくなればと思います。

今年スタートした「大人のためのボランティア体験（通称・大人ボラ）」について紹介します！

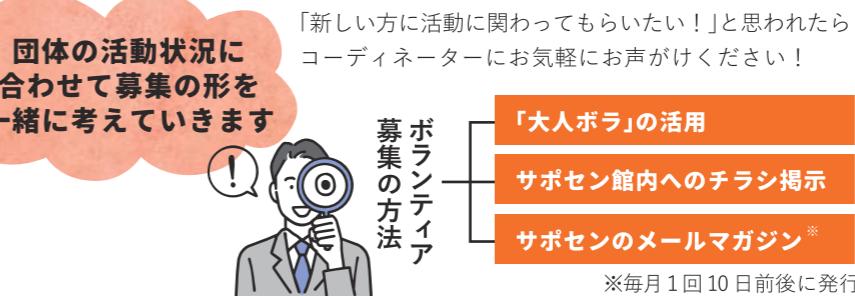


## 大人ボラとは

20代以上の方の気軽なボランティア体験や、市民活動団体のスタッフとして参加していくような体験プログラムを市内の市民活動団体より募集し、希望する方とマッチングする仕組みです。

## 活用の流れ

- まずはサポセンにご相談を！**  
「大人ボラ」の活用や、参加者に公開する「プログラムシート」のつくり方についてコーディネーターがご相談に応じます。
- プログラムシートを作りましょう！**  
シートにはボランティア体験内容の他、団体の基本情報や普段の活動内容もご記入いただきます。ちなみに、「まずは1回体験してみたい」という思いの参加者が多い傾向にあります。会員（運営スタッフ）になることは前提とせず、「いち早く団体のメンバーになってほしい」と思う団体との間でミスマッチが起きないように、具体的に活動内容や条件を記載することをおススメします。
- ボランティア希望者のご紹介！**  
はじめての方が関わりやすいプログラム作りのコツ（一例）  
「まずは1日体験（見学やお手伝いなど）。その後、定期的にご参加いただけます」など、ライトにボランティア体験ができるプログラムの書き方がおススメ！



\*毎月1回10日前後に発行



## CHALLENGER チャレンジャー 市民活動団体紹介



### お問合せ

代表 小黒 智恵さん  
ブログ: https://chouette-matsudo.amebaownd.com/  
Instagram: @matsudo.chouette/



【chacoさん】おうちスタジオの運営、カメラマン  
【tomoさん(小黒さん)】松戸市の子育て情報サイト「まつどっ子ナビ」を運営  
【haruさん】ぐちゃぐちゃ遊びの親子教室「親子遊びのアトリエ Hare-ru」を運営



写真 (上) 左から  
【chacoさん】おうちスタジオの運営、カメラマン  
【tomoさん(小黒さん)】松戸市の子育て情報サイト「まつどっ子ナビ」を運営  
【haruさん】ぐちゃぐちゃ遊びの親子教室「親子遊びのアトリエ Hare-ru」を運営

※松戸市民交流会館



ご自身も育児をする中で助けてくれたのはママ友なので、「そんなママ達に楽しい思いをしてほしい、優しくしたい」というのが私たちのテーマです」と語ってくれた小黒さん。

本当に「親子イベントならシュエッテ」と言われるようになるのもそう遠い未来ではないかも知れない…。そう思える取材でした♪

### NEW REGISTRATION



サポセン  
新規届出団体  
を紹介します！

- BABY MAMA YOGA
- まつどおせっかい部
- 循環する暮らしを愉しむ会
- 東葛合唱団はるかぜ
- 親子のためのリトミックcomodo
- CI新松戸
- 子供と家族の未来を考える会
- 木目込人形サークル
- 詩吟クラブ

2023年7月1日～9月15日(届出順・敬称略)



## デジタル一眼レフはじめました

まつど市民活動  
サポートセンター  
コーディネーター補助  
小池ひろの

はじめまして。4月からサポセンで週2回ほど広報担当として活動しています。サポセンとの出会いは2年前参加した「まつど地域活躍塾」で、私は5期生でした。

ここでは主にチラシを作ったり、Face

bookページの更新をしたり、施設を利用される方への案内をわかりやすくまとめて伝えます。ちなみに、広報の仕事をして

いたかとよく聞かれますが全く違います。ただ、「そこに無い情報をまとめて伝える」という感覚は以前建築設計の世界で身につけたスキルに似ています。確かに、私が最も有効だと思う

情報を探せる際に私は最も有効だと思います。被写界深度が浅い写真で情景の一部を切り取るような撮り方が好きになっています。写真のフレームの外で起こっていること、写真を撮る前や後で、その場で起こっていることを想像しながら見てもらえるような写真が撮れたらいいなと思います。

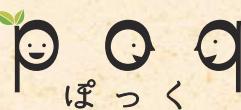
大好きな古民家隠居屋にて  
ライカで撮っていただきました



余談ですが、首からカメラを下げて歩いていると、カメラ好きの方から声をかけてもらうことが多いです。これは「犬の散歩」と同様、コミュニティ参加へのツールとしても有効ではと思う今日この頃です。



### サポセンニュースレター



「ぽっく」の  
主な設置場所

松戸市内の図書館、市民センター、公民館など各種  
公共施設の他、松戸駅などに設置しています。

#### 「ぽっく」設置協力店

Sampo Café（八ヶ崎7丁目）  
子育てつながるセンター co-no-mi  
(本町13-27)  
松戸観光案内所(本町7-3)  
やしま商店(本町6-3)  
隠居屋 IN kyo-Ya(南花島中町196)  
はれの日サロン(常盤平3-11-1  
西友常盤平店5階)  
いわぽんホール(岩瀬38)

#### 第32号(2023年秋桜号)

発行日:2023年9月15日  
(※年4回発行)  
発行元:まつど市民活動サポートセンター  
(指定管理者 NPO法人まつどNPO協議会)

さんさん カフェ(仲井町2-6-4)  
omusubi 不動産  
(穂台1-21-1 あかぎハイツ 112)  
Coworking Space Flat Café & Bar  
(新松戸3-289)  
昭和セレモニー松戸・矢切・北小金儀式殿  
(千駄堀620-1・栗山19-4・殿平賀75-2)  
松戸スタートアップオフィス  
(松戸1307-1 松戸ビル13F)  
まちかどアトリエ Neiro  
(松戸1117 ビラ松濤2F C号室)

#### 「ぽっく」の配架にご協力いただけるお店・施設を募集します!

ニュースレター「ぽっく」を、お店や施設に配架していただけませんか？  
ご協力いただいたお店・施設は、この欄で名称・所在地等をご紹介いたします。  
もちろん、無料でお届けし、部数もご要望に応じます。詳しくは、まつど市民活動  
サポートセンターまで、お電話・メール等でお気軽にお問合せください。

### まつど市民活動 サポートセンター

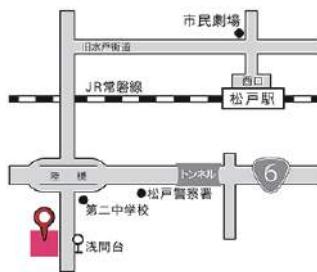
〒271-0094 松戸市上矢切299-1(総合福祉社会館内)  
**TEL:047-365-5522 FAX:047-365-5636**  
E-mail: hai\_saposen@matsudo-sc.com  
URL: http://www.matsudo-sc.com/  
facebook: https://www.facebook.com/matsudo.sc

#### 開館時間

月～土：9時～21時  
日：9時～17時

#### 休館日

第1・第3水曜、  
年末年始  
(12/29～1/3)



9月に入ても猛暑が続き、秋はいつ来るのかと苛立つ中、鉛虫の声に癪されます。(ひ)

編集後記